

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 317

事務事業名	高品質乳用牛導入事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	古賀 誠司	内線	253

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040104	魅力ある農林水産業の振興
施策		畜産業の振興
関連施策		

会計	一般	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	4	畜産業費
事業コード	090000	高品質乳用牛導入事業

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	ながさき県酪農業協同組合		
意図 対象をどのような状態にしたいか	高品質乳用牛の導入による品質向上を促進し、酪農家の経営安定を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	県酪農協が高品質乳用牛を導入し、農家へ一定期間貸し付けた後農家へ譲渡する。 その家畜導入経費の一部を補助する。 補助額……県費3.8万円、市費2万円 導入費用……約50～60万円(輸送費29,400円含む) 高品質乳用牛の貸付期間……3年間		
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	長崎県高品質乳用牛導入事業補助金実施要綱、大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	有 県の補助基準は導入費用(経費等を含む)の補助で、市は輸送費の一部を対象とする。		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 高品質乳用牛導入頭数	計画値	9	5	5	5	
		実績値	9	5	5		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 年間売上額	計画値	9	7	7	7	
		実績値	5.5	6.0	6.6		
	一頭当たりの年間売上額平均×飼養頭数	計画値					
		達成度	%	61.1%	85.7%	94.3%	
	② 一頭当たりの年間売上額(年平均)	計画値	89	88.0	88.0	88	
		実績値	81	79.0	56.0		
一頭当たりの年間売上額	達成度	%	91.5%	89.8%	63.6%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	540	300	290	290				0
国庫支出金								
県支出金	360	200	190	190				
地方債								
その他								
一般財源	180	100	100	100				
② 人件費(千円)	318	1,134	1,062	1,091	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.04	0.15	0.15	0.15				
時間外勤務(時間)			2					
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	858	1,434	1,352	1,381				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	H27年度は5頭の導入を要望し、計画通り5頭を導入できた。
事業が抱える問題・課題等	市内酪農家の減少及び高齢化に伴い、飼養頭数の減少が危惧されている。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	近年、猛暑による生乳生産量の減少等、酪農家を取り巻く環境は厳しい状態にある。本事業が生乳生産量の増産、所得の安定に寄与することで、本市の酪農業の継続・発展に貢献していることから必要性は高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	県単独事業に、市単独事業を上乗せして、事業主体へ交付している。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	一頭当たりの年間搾乳量は計画値を上回っており、成果は高いと言える。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	自己負担の軽減により、高品質乳用牛の導入が促進され、酪農経営の安定化につながっている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
補助金内訳は県費3.8万円、市費2万円とする。その根拠は、県が導入費用の一部を補助し、市が輸送費の一部を負担している。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	その他の見直し
--------	---------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	ここに畜産経営事業に組み換える。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。